

第8回高知県行政改革検討委員会（速報メモ）

日時：平成22年3月29日（月）18:00～18:56

場所：高知城ホール

出席者：高知県行政改革検討委員会

根小田会長、衛藤委員、岡林委員、坂本委員、高村委員、遠山委員、那須委員、西森委員、水田委員

高知県

恩田総務部長、田村総務部副部長、門田行政管理課長、山本人事課長、西岡執行管理室長

1. 議 事

○行政改革プラン（案）について

<主な意見>

- ・総じてうまくできていると思う。
- ・かなりの部分について、たたき台の補強・修正ができていたので、一定の評価はしたい。
- ・このプランはまだ骨格だけだと思うので、これにいろいろ肉付けして、生きた物にしてほしい。
- ・県がこれから変わっていかうとしている姿勢が非常によくでた、かつ、役人以外の人が見ても分かりやすい文章になっていると思う。
- ・県民にもきちっと知らせていくという視点が必要。
- ・今後、具体化していくことが大事。実行するとなると非常に難しいと思うが、それに向けて期待したい。
- ・問題は、このプランに書いてある内容を職員に徹底し、職員が自分のポジションと仕事の中身でどう生かしていくかだ。
- ・「アウトカムを意識した仕事の進め方」でいうと、アウトプットとアウトカムの間を、どう論理的に具体化していくか。それがないと、PDCAも回せないし、チェックもできない。
- ・これを絶対視するのではなく、進行する中で、例えば職職員数の問題にしても、減らせるところは減らしていく。逆に施策の展開によっては増やさざるを得ないところが出てくるかと思うが、柔軟性を重視する必要がある。決してバイブルではない。
- ・事業単位にどれくらい人件費が掛かっているかということを職員が認識し行動する必要がある。
- ・職員が仕事に思い切ってチャレンジできることが大事。それをバックアップできる具体的な体制が動いていくことに期待する。
- ・何をやったらどんな成果が出るのかということ、見える形で職員が理解して、それを実施すること。見える形で仕事をすることによって、県民はそれを見て

くれる。

- 地方分権は大きな流れ。その中で県として、やはりこの高知県をどうしていくのかという大きな視点というのが益々重要になってくる。
- そういう意味で、高知型の官民協働も含めて、県の役割というのは益々重要になってくるだろうと思うので、必死になって汗をかいていただきたい。
- この行政改革プランも県民の方々にもぜひ認知していただくような、そういうことにして、県民全体が高知県を盛り上げるために汗をかくというようなふうの流れがあればいいなと思っている。
- 今後の県行政のコアの部分は、やはり企画、立案機能。
- 地域の実情をきちっと調査し、それを踏まえた政策づくりを行う必要がある。
- 適材適所の人事と職員の能力のアップが一番大事になってくる。そういう点を特に留意して、行政改革を進めていただきたい。

(事務局)

- 今後は、実行段階のフォローアップについても委員会を設けて進めていきたい。